

# 第3学年 算数科学習指導案

児童 男子12名 女子11名 計23名  
指導者 山影好子

1 単元名 11「長いものの長さのはかり方」

2 単元について

### 【単元の目標】

- 長さについて、およその見当をつけたり、目的に応じて単位や計器を適切を選んで測定したりできるようにし、長さについての理解を深める。

### 【児童の実態】

- 学級の児童は、算数の学習に意欲的に取り組み、問題を解決しようとしている。
- 基本的な学習事項が身に付いており、既習事項を活用し、図に表すなどの工夫をしながら自力解決に臨んでいる。
- ノートは後で活用できるように、できるだけ分かりやすく書くことを意識しながら取り組んでいる。
- 友だちの考えを聞いて、自分と同じところや違うところに気付くことができるが、なぜそうなったのかなどの考えを深める練り合いはまだ不十分である。

<レディネステストの結果>

(9月 23名実施)

|   | 問題のねらい                        | 正答率 |
|---|-------------------------------|-----|
| ① | m, cmで表した長さを比べることができる。        | 81% |
| ② | 長さの量感をもとに、適切な単位を選択することができる。   | 84% |
| ③ | ものさしの目盛りを正しく読むことができる。         | 76% |
| ④ | ものさしを用いて、指定された長さの直線を引くことができる。 | 61% |
| ⑤ | (未習内容) kmとmの単位の関係が分かっている。     | 48% |

<単元を通しての指導>

<仮説1>

課題意識をもたせる場面の工夫

- ・問題の内容や提示の仕方の工夫
- ・学習課題の設定の仕方の工夫
- **場面を正しく理解させ、解決の見通しをもたせる。そのために、実際に体験して得た数値を用いて、学習意欲を喚起させる。**
- **新たな課題をつかませる。そのために、既習内容と比較させたり、前時との違いに気付かせたりする。**

<仮説2>

主体的に自分の考えたことを表現させる算数的活動の工夫

- ・既習事項を活用し、様々な方法で問題を解決するための自力解決の工夫
- ・自分の考えを分かりやすく説明するための工夫
- **実際に幅跳びなどを行い、巻尺を使用しながら友達同士で話し合い、考えさせる。**
- **グループの話し合いの中で、自分の考えを説明したり他の人の考えを聞いて確かめさせる。**

3 指導計画 (6時間)

第1次 長いものの長さのはかり方

第2次 **長い長さのたんい**

第3次 まとめ

2時間

**1時間 本時**

3時間

4 本時の指導

(1) ねらい

道のりや距離の意味を知り、長さを表す単位「キロメートル (km)」について理解する。

(2) 算数的活動について

・「距離」と「道のり」を求め新しい単位 km で表す活動。

**手立て☆1** 絵地図に表された直線の違いに気付かせる。

**手立て☆2** 単位換算表をもとに、今まで学習した単位について考えながら、新しい単位で表現させる。

(3) 本時の展開

| 段階           | 学習活動と予想される児童の反応  | 学習への支援と評価 支援◇ 評価◆ 手立て☆   |
|--------------|--|--|
| つかむ<br>8分    | <p>1 用語を理解する。</p> <p>まっすぐにはかった長さ 「きょり」<br/>道にそってはかった長さ 「道のり」</p> <p>2 問題を把握し、全員で解決する。</p> <p>ゆうこさんの家から学校まで、まっすぐにはかった長さは何mですか。また、道にそってはかった長さは何mですか。</p> <p>まっすぐはかった長さ 600m<br/>道にそった長さ 500+400<br/>900m</p> <p>3 課題を把握する。</p> <p>いろいろなきょりと道のりを調べよう。</p> | <p>絵地図を見て、気づいたことを話し合う。</p> <p>◇直線が一方は道に沿って、一方は建物などを横切って引かれていることに気づかせる。</p> <p><b>☆問題を具体的に把握させるため、絵地図を活用する。</b></p> <p>◇絵地図を見ながら、問題を聞いて、大事なことを捉えさせる。</p> <p>◇どちらが距離で、どちらが道のりか確認させる。</p> |
| 見通す<br>2分    | <p>4 解決の見通しをもつ。</p> <p>きょりは、絵地図にどう表されているか。<br/>道のりは、どうか。</p>   | <p>◇距離はそのまま、道のりは計算が必要であることを確認させる。</p>  |
| 考える<br>10分   | <p>5 自力解決をする。</p> <p>絵地図を見ながら、問題を作り、答えを求める。</p>  | <p>◇道のりは分かるが、きょりの分からないものもあることに気付かせる。</p> <p>◇ワークシートを準備し、考える手順を示す。</p> <p>◆道のりときょりの違いが分かり、正しく表すことができる。(ワークシート)</p>  |
| たしかめる<br>10分 | <p>6 自力解決の結果を発表し合う</p> <p>班ごとに問題を出し合い、答えを確かめる。</p> <p>7 新しい単位を覚える。</p> <p>1000mを1キロメートルという。<br/>1kmと書く。</p> <p>8 問題を把握する。</p> <p>自分で考えた問題の答えを、新しい単位を使って表そう。</p>  | <p>◇一人一問ずつとする。みんな同じだった時はその場で(一人あるいはみんなで)考える。</p> <p><b>☆単位換算表を使い、2年生の長さの学習から、新しい単位を考えさせる。</b></p> <p>◇ワークシートにもう一つ答を書かせる。</p>   |

|            |   |   |
|------------|---|---|
| 考える<br>10分 | 9 自力解決をする。  | ◇長さの単位換算表を見ながら、k mを使って正しく表せるようにさせる。<br>◆k mの単位を正しく使うことができる。(観察・シート) |
| まとめる<br>5分 | <p>10 答えを確かめる。<br/>k mで表す良さを考える。<br/>・小さい数字で表せる。</p> <p>11 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>きよりは、まっすぐな長さ<br/>道のりは、道にそった長さ<br/>1000mを1キロメートルとい<br/>い、1kmと書く。</p> </div> <p>12 本時を振り返り、次時の見通しをもつ。<br/>校庭1kmを測って、歩こう。かかった時間や歩数を調べよう。</p> | ◇本時の課題を振り返りながら、児童の言葉でまとめていく。  |

#### 4 評価

| 評価規準<br>(観点) [方法]                                  | 判定基準   |   |  |
|--|--|---|--|
|  | 十分満足 (例)                                     | おおむね満足                                  | 手立て  |
| 長さの単位 (k m) について理解している。<br>(図形についての知識・理解) [発表・シート] | 長さの単位 (k m) について理解し、mで表示されたものを正しく換算することができる。 | 長さの単位 (k m) について、換算表を見ながら、k mで表すことができる。 | 1 mを1000個集めたのが1k mであることから、4桁目に印をつけて、考えさせる。 |